

2025年度入学者選抜

大学院看護学研究科

修士課程 【I期】

小論文 90分

(9:30 ~ 11:00)

注意事項

- 1 受験票は、机に貼ってあるラベルにはさみ、許可されたもの以外は、机の上に置かないこと。なお、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電源は切ること。
- 2 開始の合図があるまで、試験問題、解答用紙及び下書き用紙に手をつけないこと。
- 3 開始の合図があったら、最初に試験問題及び解答用紙に落丁や印刷の不鮮明なところがないかどうか調べ、もしあれば申し出ること。
落丁等がなければ、直ちに解答用紙の指定した欄に、「受験番号」、「氏名」を記入すること。
- 4 試験問題は1ページである。試験問題の余白は、下書き・メモに使用してよい。
- 5 解答は、解答用紙の指定された解答欄に黒色の鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
- 6 解答用紙には、所定の欄以外の場所に、何も書かないこと。
- 7 途中退場は許可しない。
- 8 試験問題について不明な点がある場合は、静かに手を挙げること。ただし内容に関する質問には応じない。
- 9 気分の悪くなった時や、トイレに行きたい時などは手を挙げること。
- 10 不正行為があると認められた場合は、直ちに退場させる。
- 11 終了の合図があったら、解答用紙、試験問題及び下書き用紙は、表を上にして机の端に置き、試験監督者の指示を待つこと。

小論文

問

臨地実習において、患者との関わりあいの中で起こる学生の様々な体験は、看護学の知識や技術を習得するための貴重な素材です。教師や指導者が、これらの素材の中から、適切なものを選択し、学習の場を作ることを「教材化」と言います。これまでの臨地実習における学生との関わりの場면을想起して、具体的に記述し、実習指導における教材化の必要性について、論じてください。学生指導の経験がなければ、新人看護師との関わりの場면을想起して論じてください。(1,600字以内)

2025 年度入学者選抜 大学院看護学研究科 修士課程 試験問題について

【出題意図】

臨地実習での患者との関わりあいの中で起こる学生のような体験は、看護学の知識や技術を習得するための貴重な素材である。教師や指導者が、これらの素材の中から、適切なものを選択し、学習の場を作ることを「教材化」と言う。臨地実習では、あくまでも学生が直接的経験でとらえた素材から教材化を図ることが重要である。教材化に関しては、実習指導だけでなく、新人教育のOJTでも同様である。

したがって、本問題において、教材化についての一般的な知識の理解を問うとともに、自身の考えを客観的に論述できるかを問う。

【解答例】

出題の問いに対して、下記の内容が述べられている。

- ①問に示している「教材化」の定義を理解し、体験を、他者にわかりやすく具体的に記述している。
- ②看護実習教育における教材化の必要性について述べられている。または、OJTの指導場面の教材化の必要性について述べられている。